

学生生活を有意義にする方法

1. 今振り返って学生生活とは？

☆ キーワードは「時間」と「出会い」

① 時間…主体的、墮落、なんでもできる、社会人候補生、モラトリアム etc...

② 出会い…出身地、教授、国際、旅行、アルバイト、年齢差 etc...

⇒ この二つを自分が満足いくように使いこなすのが大事

2. 僕の事例

学年	出来事	感じたこと
1・2 回生	特になし	時間を無駄に過ごした、後々後悔
3 回生	夏に議員インターンシップ 秋に託児所設立プロジェクト 冬に就職活動開始	年齢・職業・価値観の異なった様々な人々と出会い、多くのことを吸収した。夢を持てるようになったことに感謝。
4 回生	就職活動、勉強、旅行	就活においてかなり成長を実感。社会人になりたくない、学生でいたいと思い始める。時の過ぎる早さ・“やり残した感”を痛感。

3. 事例分析

詰込み・後悔型…前半何も考えず何もしなかったことを悔み、後半激しく活動する。

4. 事例のようにならないために

- ① 時間が有限であることを意識する
- ② 出合いを大切にす
- ③ 好きなことを好きなだけする
- ④ 興味がちょっとでも湧いたら飛び込んでみる

5. おわりに

学生生活どうなるかが自分の問題。後悔しないように、今できること・今しかできないことを今のうちにチャレンジしてみたいかがでしょう。

平山 真史

おはようございます。平山です。疲れてきましたか？ 5人も話して同じ内容、同じテーマなので被ることも多いので。僕は淡々と、意外といい話とか、すると思います。自分と考えがだぶっていることもあると思います。僕なりのメッセージを伝えて、そのメッセージから誰か一人でも動いてくれたらいいかと思って5つくらい項目を立てました。

学生生活で伝えたいこと。学生生活がどういうことか整理してみました。まとめると2つ、時間と出会いが大きなキーワードになると思います。いろいろできる時間もあるし、墮落する時間もあると思います。つまり主体的な時間だと思います、大学生活は。自分なりに動かせる時間、義務的な時間ではなく。もう一つ出会いは大きな大学にはいろんなところから来ている人もいるし、先生とも会える。国際的な出会いもある。旅行とかアルバイトとかいろんな出会いがあると思います。自分が満足いくように使いこなしていけば、有意義になれるのではないかと思います。

学生生活にはこの二つの言葉が入って、実際に僕はどういう生活を送ったのかを比較しながら二つの言葉を整理してみたいと思います。1、2回生ですが、特に何もませんでした。ただ無駄に時間を過ごして、やったことはアルバイトのコンビニくらいで、長続きしないし、特に何もすることはなく。3回生になると、これはまずいなとなって、活発に動きだしたんです。夏に国会に議員インターンシップにいて、実習してなかったんで、何か夏休みをしたいと思って。秋に託児所設立プロジェクトを、これが一番大きな活動でした。同志社大学に託児所を設置しようという動きを立ち上げてやったんです。冬には就職活動を始めました。

議員インターンシップでは秘書の人とか、議員の人、託児所では金子先生にお世話になって、永田先生などにお世話になって、いろんな年齢や職業、価値観の異なった出会いをして、多くのことに気づきました。吸収しました。特によかったと思うのは永田先生の地域福祉論で社会的起業とか、自分なりの夢を持てるようになったので、そこで残りの大学生活を有意義に過ごそうとイメージができました。今では感謝しているかもしれません。

就活は4月で終わったんですが、人に伝えること、自分をうまく見せること、自分が考えていることを、もっと具体的に落としつけないといけな。その時に振り返って、話すことと、考えることの成長ができたので、よかったかなと思っています。今になると残り少ない時間を痛感しています。

事例を分析すると典型的な詰め込み、後で後悔するタイプです。よく聴いていると前の人もこんな感じで、3、4回生になると焦る感じなので1、2回生のうちにできることかあったらやったらいいという感じですね。

こういうふうにならないためにどうしたらいいか。4つ大切ではないかと思います。時間が有限であることを意識して出会いを大切にすること。この二つを意識することで大分変わると思います。意識するだけでなく、さらに思ったら一歩踏み出してみてください。自分がやりたいこととか、僕の場合は、後で詰め込み方になってしまったんですが、僕や、ここにいる人はまだいい方で僕の一人学生の友だちで、全部、「特になし」と書ける人がいて、何もしていない、アルバイトくらいしかしていない。興味がない人は無気力で無関心で無機質タイプの人間なんですが、その人は通学の時、本

をひたすら読んで、自分が好きだから読んでるんだと思いますが、好きなことを好きだけすることが、その人なりのすばらしい方法だと思って、僕の知っている学生の中で一番賢い、博識高い人だなと思ったりしています。こんな学生っぽいことをしたくない、モチベーションが上がらないという人は好きなことを、好きだけするのもいいし、興味がちょっとでも沸いたら飛び込んでみることもいいと思います。

終わりに。こういうふういろんなことを伝えているんですが、別に学生生活がどうだろうが、その人の問題で、もっと具体的に言えば、1回生の小西君の生活がどうだろうが僕は関係ないんですね。関係ないんですけど、自分の問題なので自分が後悔しないように、今できることをしっかりやる。チャレンジしたら、もっといいのではないかと思います。僕はこのくらいで、あと2人、我慢して聴いてください。

